

# 乳牛への飼料イネ利用の実態と今後の展望

## 【現状】

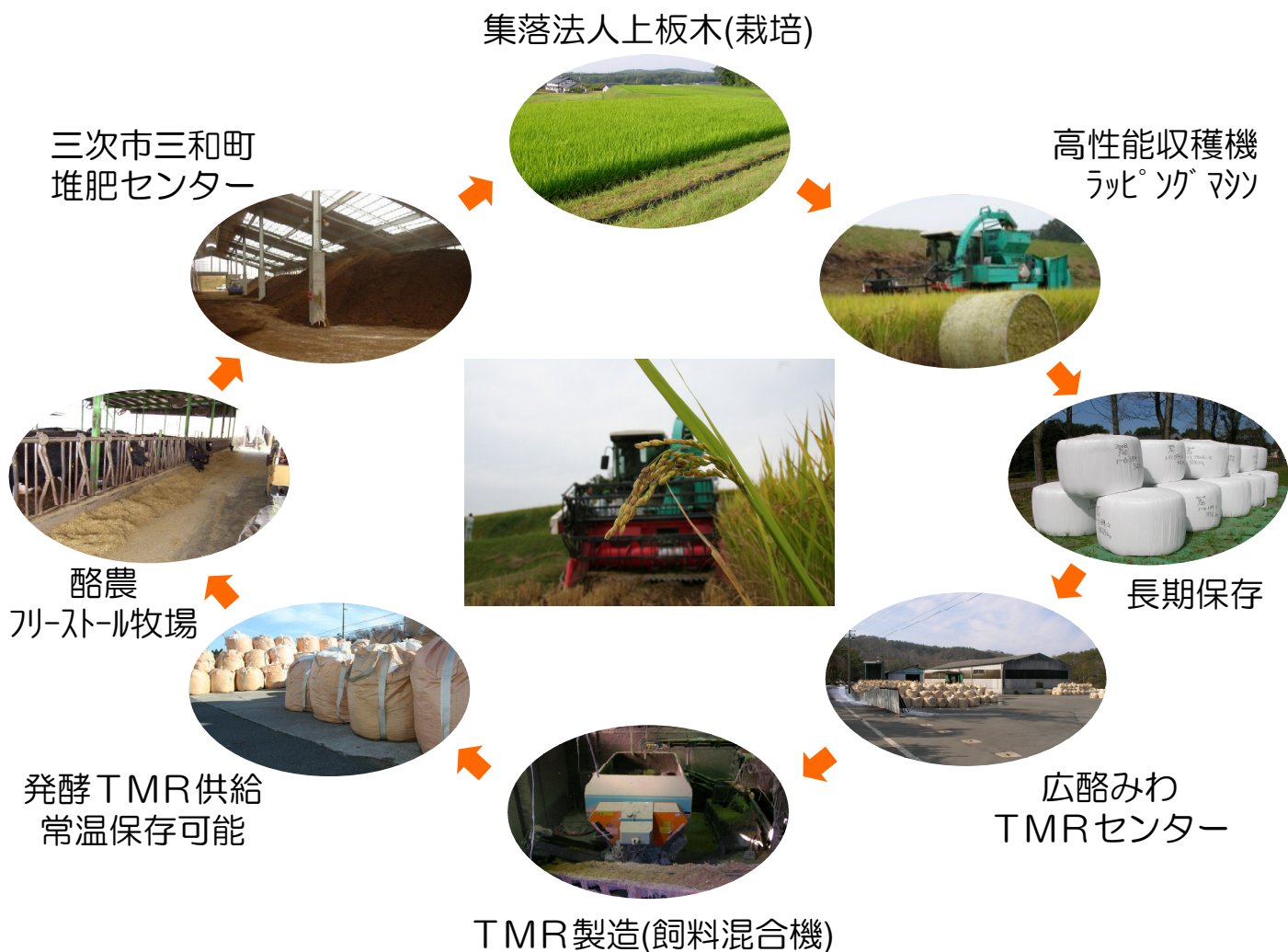
飼料イネの本格的な栽培開始から8年経過，栽培面積は横ばい  
供給先の多くは乳牛，少量給与，旧町の範囲で流通  
乳牛の産乳能力を最大に引き出す給与利用技術を開発

## 【課題】

利用技術の普及  
(需要拡大)  
生産性の向上  
(収益拡大)  
耕畜連携の発展  
(広域化)

## 【展望】

新品種に対応した，栽培・調製・給与技術の開発  
(高収量，高栄養，高飼料効率の稲発酵粗飼料)  
広域連携システムの構築  
(転作対応，有機資源循環，食料自給率向上に貢献)



※高性能収穫機

稲発酵粗飼料の高品質化と長期保存を実現させた新型収穫機が開発された。

※TMR (total mixed ration)

養分要求量に合うように粗飼料，濃厚飼料，ミネラル，ビタミンなどをすべて混合した飼料。

TMRセンターは，その製造と搬送を行なう。現在，県下で2カ所稼働中。

2009



広島県酪農業協同組合